

授業科目 疫学

【担当教員名】 遠藤 和男	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

<概要> 公衆衛生学や公衆看護学またその実践である地域保健活動にとって、根本的な理論が「疫学」であり、いわば原理と方法論である。それに対して前期で学んだ統計学は、ある意味で道具である。この両者によって現在医療の現場で重視されている、EBM (Evidence-based Medicine)の基礎について修得が可能なのである。

<一般目標：GIO>

証拠に基づいた医療であるEBM (Evidence-based Medicine)を用いたチーム医療に参加するために、その原理としての疫学的な物の考え方、方法論について修得する。

<行動目標：SBO>

1. 証拠に基づいた医療であるEBMの重要性を説明できる。
2. 疫学研究で用いられる指標を列挙できる。
3. 目的に応じた研究方法を選択できる。
4. 与えられた課題の問題点を整理して対策を立てられる。
5. 常に証拠に基づいて議論する習慣を身につける。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題
1	疫学とは何か	疫学の定義、歴史的な業績について学ぶ	1	講義
2	疫学で用いる指標	有病率、罹患率、年齢調整死亡率について学ぶ	2	講義
3	(同、演習)	疫学で用いる指標を実際に計算し、意義について討議する	5	演習(個人+小グループ)
4	標本抽出法	調査、研究を始める前の標本抽出法を学ぶ	1	講義
5	スクリーニング	スクリーニングの原理、指標について学ぶ	1	講義
6	(同、演習)	レベルを変えた時の各指標の変化について演習する	5	演習(個人+小グループ)
7	記述疫学	記述疫学の方法について学ぶ。	1	講義
8	(同、演習)	実際の記述疫学で得られた結果について討議する	3-5	演習(小グループ)
9	分析疫学	分析疫学の方法について学ぶ	1	講義
10	コホート研究	コホート研究の方法とその指標を学ぶ	1	講義
11	(同、演習)	実際のコホート研究で得られた結果について討議する	3-5	演習(小グループ)
12	症例-対照研究	症例-対照研究の方法とその指標を学ぶ	1	講義
13	(同、演習)	実際の症例-対照研究で得られた結果について討議する	3-5	演習(小グループ)
14	総合演習	課題を与え、適切な研究方法、結果予想について討議する	1-5	演習(小グループ)

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	はじめて学ぶやさしい疫学	田中平三、能勢隆之編	南江堂	2005年第4刷、¥1800+税
参考書	疫学・基礎から学ぶために	日本疫学会編	南江堂	1999年第4刷、¥2800+税
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
1. 講義回では小テストを実施する。 2. 試験方法は未定	※カリキュラム上「統計学」が前期、「疫学」が後期に配当されているものの、学習効果を考慮して前期で「疫学」、後期で「統計学」を学習する。